

# 平成30年度当初予算要望活動を実施!



香川県教職員連盟機関誌  
発行所:香川県教職員連盟  
発行者:安本 薫

〒760-0004  
高松市西宝町2丁目4番60号  
香川県教育会館602号

TEL (087) 835-2721  
FAX (087) 835-2723

http://www.kakyoren.com/  
E-mail:info@kakyoren.com

毎月10日発行 定価1部50円  
(年間1,000円 送料とも)

会員の購読費は会費の中に含む



香教連は、結成四十三年を迎えた、子供中心の教育を目指し、健全なる批判力を持つ、県内最大の教職員団体です。

## 学校現場の実態に応じた教育環境の整備を要望!

### 県教育委員会へ



香教連は、十一月十五日(水)十四時から、県庁北館四階四〇二会議室において、香川県教育委員会との予算交渉を行った。香教連から安本委員長、原田副委員長、北村事務局長の三名が出席し、県教委側は工代教育長、久保義務教育課長ほか、十二名が対応した。

主要要望内容は、「小学校英語の専科教員の配置や中学校への接続も含めた学校間の連携の取組を実現していくための体制づくり」「部活動指導員配置の促進」「校務支援員の増配置」「指導教諭を核とした校内指導体制の充実」「通級指導教室の増配置」「県下統一の校務支援システムの導入」等である。

現場の勤務実態を踏まえ、香川の子供たちのために教職員が教育に専念できるような環境づくりを要望した。

### 県知事へ

十一月十四日(火)十時四十五分より、香川県庁第一応接室において、浜田恵造・香川県知事に対して、文教予算の確保に関する要望活動を行った。

香川県の先生方の勤務状況や現状を伝えるとともに、来年度より先行実施される小学校英語の指導体制や部活動指導員の増配置、ICT活用による県下統一の統合型校務支援システムの導入等について要望した。



### 県議会へ



十一月十日(金)十六時三十分より、香川県議会二階議長応接室において、香川県小・中学校管理職員協議会と合同で五所野尾恭一・香川県議会議長に対して要望活動を行った。県議会からは五所野尾議長以下三名の県議会議員が出席した。

会に先だつて香管協・善生会長から要望書を、香教連・安本委員長からは要望書と会員の皆さんから集めた署名簿を手渡した。未来を担う子供たちに、質の高い教育が提供できるよう、文教予算の確保を要望した。

### 関係省庁へ



全日教連を通じて、十月十六日(月)、文部科学省・財務省・総務省・厚生労働省の四省に「文教関係施策及び関連予算に関する要望」を実施した。

香教連からは安本委員長が参加し、学校現場の多忙化の現状や地方の教育環境の格差等について話し、文教予算の拡充を強く訴えた。



主要要望内容は、「義務標準法改正を伴う基礎定数及び加配定数の拡充」「小学校英語の実施に向けての体制整備」「教員の働き方改革について」「ICTを活用した統合型校務支援システムの拡充」等である。



### 国会議員へ

また、十一月六日・七日には、国会議員に対しても、「文教関係施策及び関連予算に関する要望」を実施した。

香教連からは、安本委員長、北村事務局長、井上全日教連事務局長が参加し、香川選出の国会議員を中心に、香川の教育現場の状況を伝えるとともに、教員の働き方改革について意見を交換した。



子どもたちのために日々がんばっている香川の先生方のためにも、香教連はこれからも声を届けていく所存である。



先日、テレビで東京渋谷・スクランブル交差点でのハロウィン風の仮装の様子が放映されていた。その時、インタビューを受けた仮装している若者の中に、荷コインロッカーが使えなくて困っているとのコメントがあった。そう、トランプ・アメリカ大統領が十一月五日・六日に来日するため、都内のコインロッカー等の使用が制限されたためである。十月三十一日は平日だったため、会社帰りに仮装していた人にとっては、手荷物が預けられずに困っていたという。しかしそれを逆手にとって、手荷物を安価に預かる店が登場した。そのニュースを聞き、「目のつけどころ」がすごい!と感心させられた。さすがである。▲社会や時代の流れを的確に捉え、ニーズに合わせた対応をとっている。▲香教連では今年度初めて実施した「ボルダリング体験」には多くの方々に参加していただいた。目的のつけどころが大切である。今後香教連は会員の皆さんのニーズに合わせた研修会や行事を考えていく。今後多くのご意見をいただきたい。(薫)